

目 次

はじめに

1 宇都宮市の不登校対応関係機関

- (1) 学校以外の多様な支援の場について…………… 1
- (2) 教育センター・適応支援教室・相談学級 マップ …… 2

2 教育センターの概要

- (1) 教育センター相談室 …… 3

3 適応支援教室の概要

- (1) 適応支援教室への通級までの流れ …… 4
- (2) 適応支援教室「とらいあんぐる」…………… 5
- (3) 適応支援教室「まちかどの学校」…………… 9

4 相談学級の概要

- (1) 相談学級（自閉症・情緒障害特別支援学級）入級までの流れ …… 1 4
- (2) 築瀬小学校 相談学級 …… 1 5
- (3) 旭中学校 相談学級 …… 1 9

5 適応支援教室・相談学級 Q & A …… 2 3

は じ め に

本市におきましては、何らかの理由により学校に行けない児童生徒に対して、教育センター相談室や適応支援教室（とらいあんぐる・ましかどの学校）・相談学級において、一人一人の状態に応じた支援を行っております。

各適応支援教室・相談学級は、まずは不登校状態にある児童生徒にとって安心できる居場所となることが大きな役割であり、児童生徒の状態の変化に応じて、少しずつ自分自身の在り方を考え、様々な活動にチャレンジしていくためのベースキャンプとしての機能を發揮しております。こうした中、児童生徒には、職員と個別活動、小集団活動をとおして、じっくりと自分と向き合いながら、学習や様々な体験活動に取り組みせ、学校復帰や社会的自立に向け、在籍校の先生方やご家族との連携・協力のもと、自信の回復や対人関係力の育成を図っております。

本ガイドブックには、通級・入級までの流れや各適応支援教室・相談学級の特徴など各種の情報や資料がまとめられています。不登校の状態にある児童生徒が、学校復帰や社会的自立に向けた新たな一步を踏み出せるよう、ぜひご活用ください。

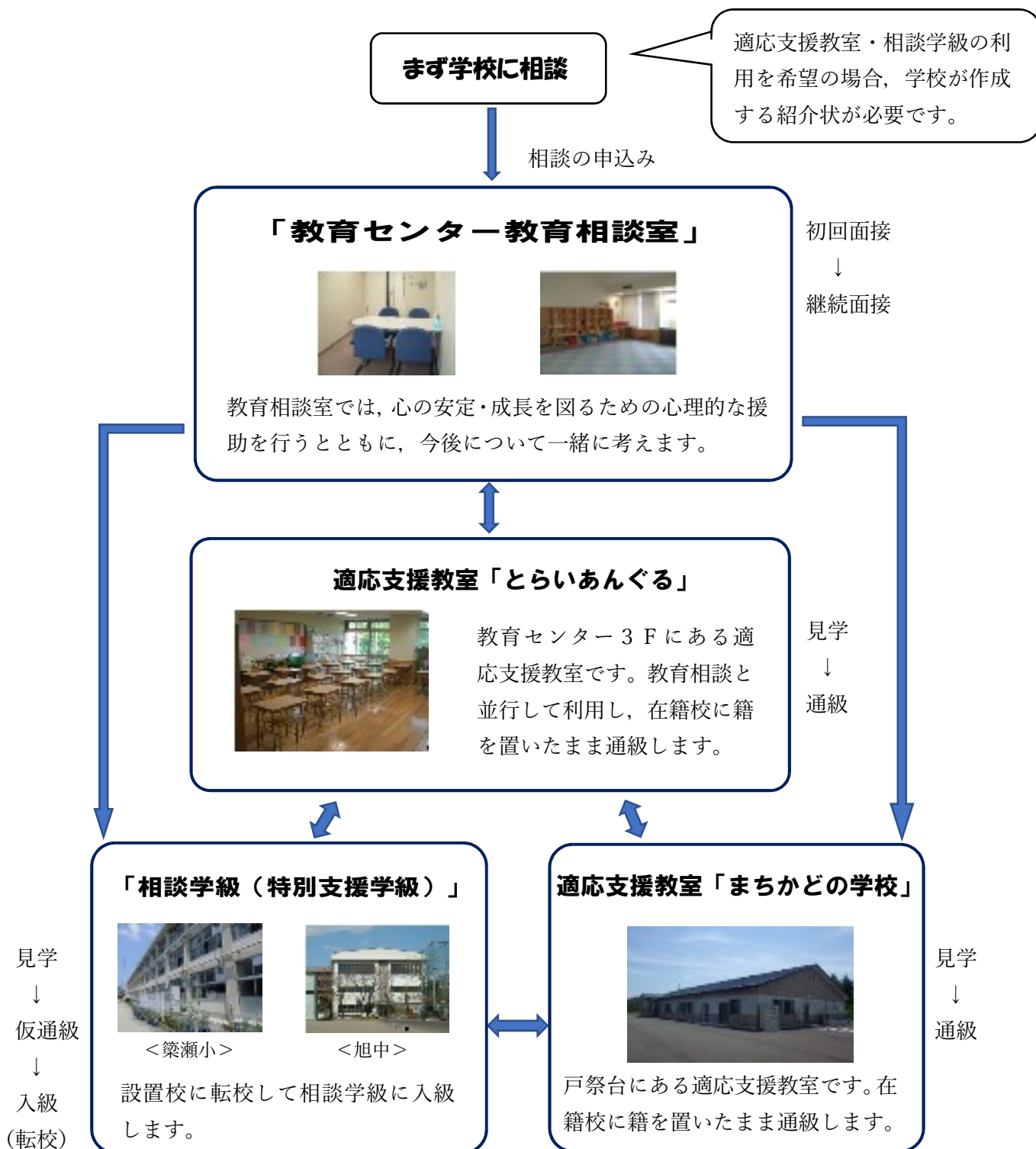
令和2年6月

宇都宮市教育センター

1 宇都宮市の不登校対応関係機関について

(1) 学校以外の多様な支援の場について

宇都宮市では、学校の様々な取組によってもどうしても登校できずに困っている児童生徒のために、児童生徒の状況に合わせて、下記のような“多様な支援の場”で支援を行っています。



(2) 教育センター・適応支援教室・相談学級 マップ



2 教育センターの概要

(1) 教育センター相談室

ア 所在地 〒320-0816 宇都宮市天神1-1-24
TEL 639-4380（相談は予約制）， FAX 639-4390

イ 担当者

① 平日相談

- ・ 初回面接担当 臨床心理士： 1名 年110回
- ・ 継続面接担当 会計年度任用職員（教育相談業務）： 6名
適応支援教室担当教諭（旭中学校籍・とらいあんぐる）： 1名
会計年度任用職員（適応支援教室相談業務・とらいあんぐる）： 2名
- ・ 医学的相談担当 小児科医： 1名 年12回
※ 一部の相談は， 教育相談担当指導主事3名が対応

② 日曜相談（不定期）

- ・ 初回面接担当 臨床心理士： 1名 年40回
- ・ 継続面接担当 相談員： 2名 年40回
※ 就学・適応支援教室利用に関する相談を除く

ウ 対象

不登校，登校渋り，教室に入れないなどの状態が見られる児童生徒（小・中学生）及びその保護者

- ・ 保護者のみの相談も可能
- ・ 他に，集団不適應，就学，情緒不安定，学業不振などの相談にも対応
※ 就学に係る相談については，会計年度任用職員（就学相談業務）6名と，担当指導主事3名が対応
※ 集団不適應に関する相談については，学校からの依頼により，会計年度任用職員（学校生活適応支援アドバイス業務1名，学校生活適応支援相談業務2名）が担当

エ 開設時間・面接時間

① 平日相談 9：00～17：00

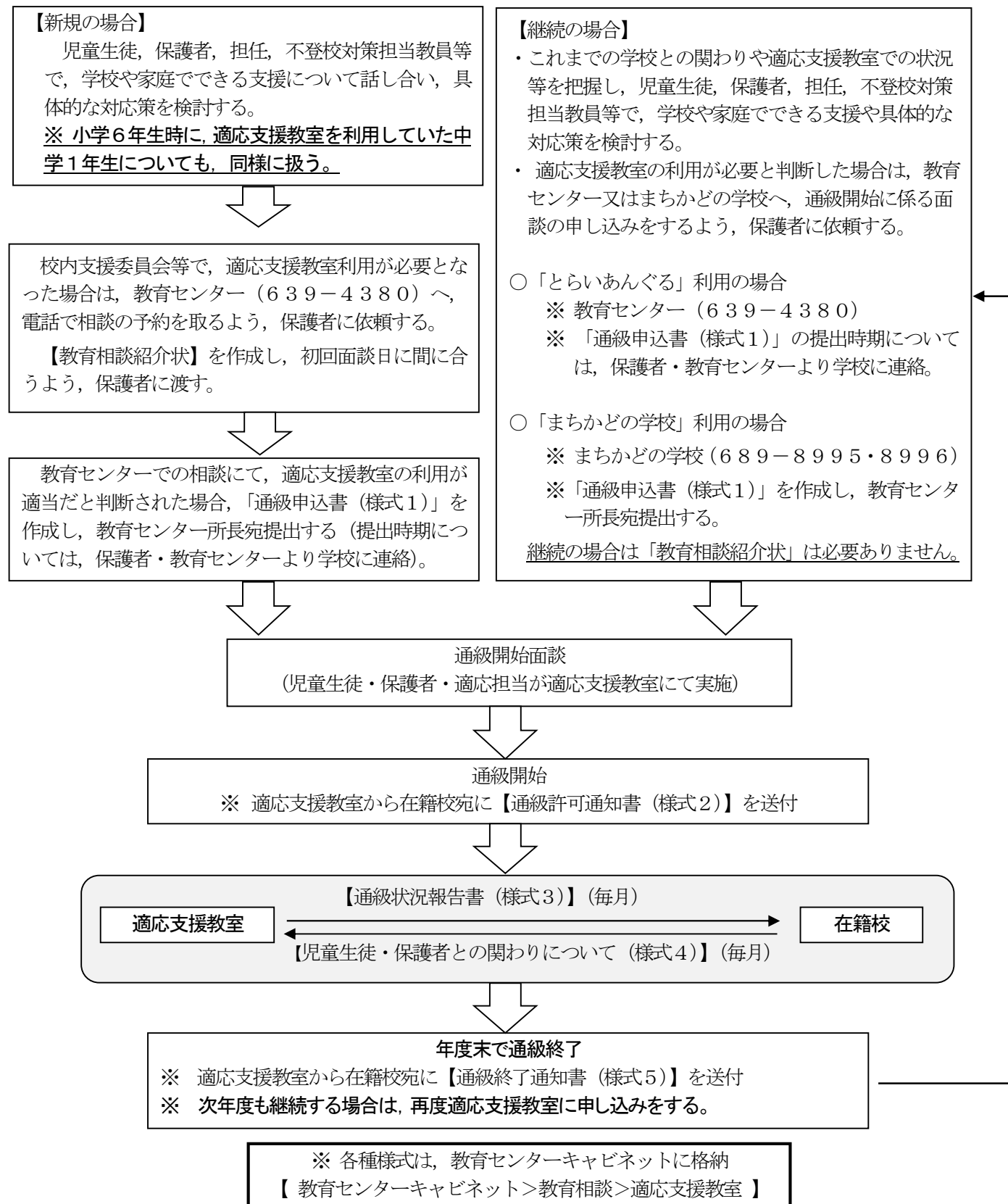
- ・ 初回面接 90分間（9：00～，10：30～，13：00～，14：30～）
- ・ 継続面接 45分間（毎時00分～45分まで，ただし各種検査は90～120分間）
- ・ 医学的相談（小児科） 45分間（14：00～，15：00～，16：00～）

② 日曜相談 13：00～17：00

- ・ 初回面接 90分間（13：15～，15：00～）
- ・ 継続面接 45分間（13：30～，14：30～，15：30～，ただし各種検査は90～120分間）

3 適応支援教室の概要

(1) 適応支援教室への通級までの流れ



(2) 適応支援教室「とらいあんぐる」

ア 所在地 〒320-0816 宇都宮市天神1-1-24 宇都宮市教育センター3階
電話 639-4391 (直通), FAX 639-4390



イ 担当者 適応支援教室担当教諭（旭中学校籍）：1名
会計年度任用職員（適応支援教室相談業務）：2名
スクールカウンセラー： 年14回（水曜日）

ウ 対 象

- ・ 個別の相談を通して気持ちを整理し、今後の自分について考えたい児童生徒
 - ・ 学校復帰や適応支援教室「まちかどの学校」、相談学級の利用等について相談をしたい児童生徒
 - ・ 相談と並行し、当面の居場所を必要としている児童生徒
- ※ 教室の利用に当たっては、他の児童生徒と同室できることが前提

Ⅰ 教室の特色

通級する児童生徒の学校復帰や社会的自立に向け、自信の回復や対人関係力の育成等を目的に、次のような活動や支援を行う。

継続的な教育相談

- ・ 児童生徒本人や保護者との継続的な教育相談を行い、不登校状態の改善を図る。
- ・ 児童生徒の状態を見極め、学校復帰や適応支援教室「まちかどの学校」、相談学級の利用等の検討を行う。
- ・ 6か月間を目安とし、状態により期間を延長する。

当面の居場所としての教室開放

- ・ 相談の申し込みがあった児童生徒のうち、通級を希望し、適当と判断される者に対して、相談と並行して当面の居場所を提供する。
- ・ 児童生徒の状況に応じて、自主活動やスポーツ、室内ゲーム等の小集団活動を実施する。
- ・ 児童生徒の状況によっては、集団活動にトライ（挑戦）する機会として、合同行事への参加を促す。

才 日 課

とらいあんぐる日課表

	月	火	水	木	金
10:00	自主活動	自主活動	自主活動	自主活動	自主活動
10:50	休 憩				
11:00	小集団活動 (スポーツ)	自主活動	小集団活動 (室内ゲーム)	自主活動	小集団活動 (室内ゲーム)
11:50					

- ※ 自主活動では、自主学習の他、読書、イラスト、折り紙など自分で活動できる活動を行う。
- ※ 小集団活動では、室内ゲームやスポーツ等、児童生徒の希望により活動内容を決める。
- ※ 教室の活動時においても、必要に応じて面接・個別対応を実施する。
- ※ 適応支援教室「まちかどの学校」や相談学級との合同行事の際には午後の活動も設定する。

カ 「とらいあんぐる」での過ごし方の例

○ 仮通級中のAさんの場合



10:00	月	火	水	木	金
11:00		自主活動			
12:00			小集団活動		

- ※ 自主活動のみ、小集団のみの通級も可能です。
- ※ 曜日を決めて通級しますが、曜日を定めることがプレッシャーになる児童生徒については、来られる日の朝に電話連絡をして通級するなどの対応も可能です。

○ 正式通級になり、週3回通うことになったBさんの場合



10:00	月	火	水	木	金
11:00			自主活動		自主活動
12:00		自主活動	小集団活動		

- ※ 本人の希望を聞きながら、無理のない形での通級を行います。

○ 「とらいあんぐる」に慣れてきて、通級日が増えたCさんの場合



10:00	月	火	水	木	金
11:00	自主活動	自主活動		自主活動	自主活動
12:00	小集団活動	自主活動		自主活動	小集団活動

- ※ 毎日通級することも可能です。

キ 活動内容

○ 教育相談

・ 自分の思いを整理し、不登校改善のための相談をする

・ 継続的な個別の教育相談の実施

○ 自主活動

・ 活動意欲を呼び起こす

・ 学習したい教材を持参しての、自主学習
・ 読書、編み物、折り紙など個人でできる活動

○ 小集団活動（スポーツ・室内ゲーム）

・ 仲間と共に活動する楽しさを味わい、集団への抵抗を和らげる

・ 卓球、バドミントン、バレーボールなど
・ トランプ、ウノ、ボードゲームなど
・ 活動内容は児童生徒の希望により決める

○ 体験活動

・ 活動への参加を通して自信をつける

・ 適応支援教室「まちかどの学校」、相談学級との活動や合同行事



ク 年間活動計画（例）

	行 事 等	概 要
春	全国学力・学習内容調査、とちぎっ子学習状況調査	希望者のみ実施
	合同行事 「冒険活動体験①」 ※	野外活動：冒険活動センター
	合同行事 「遠足」 ※	施設見学、体験活動など
夏	合同行事 冒険活動体験② ※	野外活動：冒険活動センター
秋	合同行事 「校外学習」 ※	施設見学、体験活動など
	合同行事 「合同スケート教室」 *	スケート体験：市スケートセンター
	県西地区ふれあいキャンプ	2泊3日 部分的な参加も可
	全市一斉土曜授業（小・中）	希望者のみ実施
冬	適応指導教室交流学习会 *	県内の適応指導教室との交流
	学習内容定着度調査、学習と生活に関するアンケート	希望者のみ実施
	合同行事 「校外学習」	施設見学、体験活動など

※：まちかどの学校との合同の行事

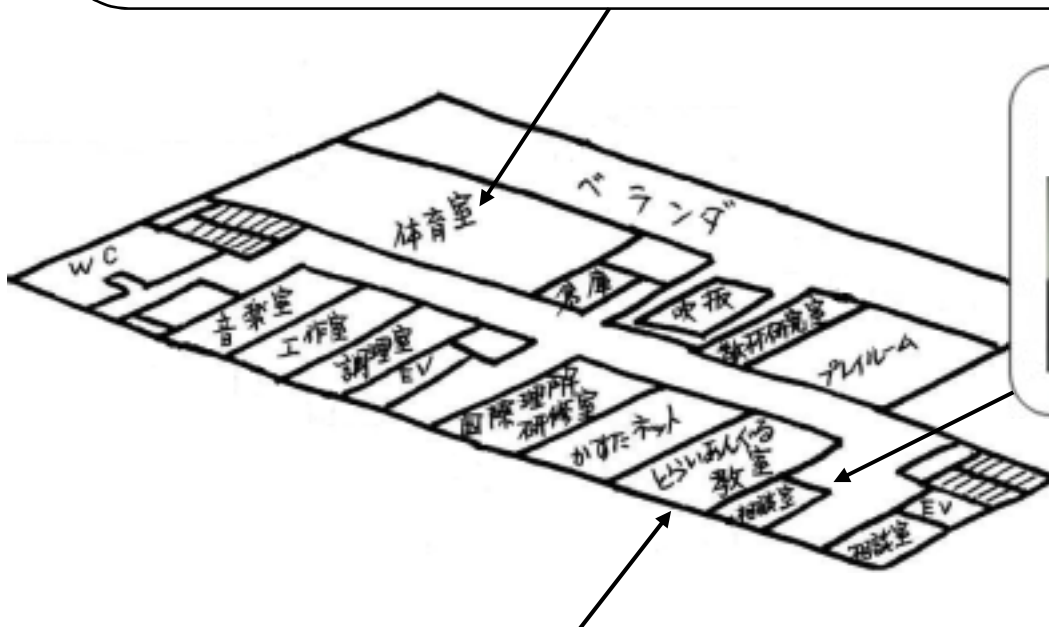
*：まちかどの学校、相談学級との合同の行事

とらいあぐる

宇都宮市教育センター3階見取り図

《体育室》

バドミントン、卓球、バスケットボールなど、スポーツ活動ができます。



《相談室》

面接をする部屋です。



《とらいあぐる教室》

自主活動や室内ゲームなどの活動を行います。

教室奥には、ゆっくり過ごすこともできる座敷スペースがあります。



(3) 適応支援教室 「まちかどの学校」

ア 所在地 〒320-0017 宇都宮市戸祭台46番地1
電話 689-8995・8996 [保護者・一般用]
689-8997 [学校・教育センター用]
FAX 627-2800



イ 担当者 適応支援教室担当教諭（星が丘中学校籍）：2名
会計年度任用職員（適応支援教室指導業務）：4名
会計年度任用職員（適応支援教室事務）：1名
スクールカウンセラー：1名 年42回

ウ 対象

- ・ 緊張が強く、個別の活動から始めたい児童生徒
- ・ 仲間と一緒に活動し、自信をつけたい児童生徒
- ・ 自分のペースで少しずつ活動を広げていきたい児童生徒

エ 教室の特色

通級する児童生徒の学校復帰や社会的自立に向け、自信の回復や対人関係力の育成等を目的に、次のような活動や支援を行う。

個別活動

通級開始直後や不安や緊張が非常に強い場合などは、担当者やボランティアとの1対1の活動や、その子の思いや状況に応じた活動を行う。

目的別小集団活動（ゼミ活動）

不安や緊張が和らいだり、活動への興味・関心が高まったりしてきた場合や、気持ちが安定して、エネルギーが高まってきたことがうかがえる場合は、目的別小集団活動への参加を促す。

ボランティアの趣味や特技などを生かした活動メニューの中から、担当と相談しながら、本人の状況や興味・関心などに応じた活動を選択して、参加する。

集団活動（つげの木）

集団活動にチャレンジしたい、教室のような環境で活動を体験したい、慣れているメンバーと一緒に活動したいという場合は、まちかどの学校内の「つげの木」での集団活動への参加を促す。

担当と相談しながら、「つげの木」の時間割の中で参加できそうな活動を選択して、参加する。

個別の活動プログラムを編成

パーティションで区切られた学習室や、他の通級生と交流できるスペースがあり、「一人で過ごしたい」、「人目が気になる」、「同年代の通級生と活動したい」など、状況に応じて活動場所や活動内容を選択することができる。

担当者と話し合い、一人一人の状況に応じて活動内容・形態（個別・集団・目的別小集団活動）を見直ししながら、個別の活動プログラムを編成し、支援を行う。

遠足や社会科見学などの行事、調理実習などの体験活動

行事や体験活動については、担当から活動内容などについての説明を聞いた上で、一人一人の状況や課題に応じて、参加の有無を検討したり、参加する場合は、何を目的にどのような形で参加するかなどについて相談したりする時間を設けている。

オ 日 課

時 間	内 容
9：30～	個別対応・面談など
10：00～10：50	個別活動，集団活動，ゼミ活動など①
11：00～11：50	個別活動，集団活動，ゼミ活動など②
12：00～13：00	ランチタイム（お弁当）
13：00～13：50	個別活動，集団活動，ゼミ活動など③
14：00～14：50	個別活動，集団活動，ゼミ活動など④
15：00～	面談など

※1週間に通級する回数やまちかどの学校で過ごす時間、活動内容については、まちかどの学校での様子などを基に、随時見直しを行い、児童生徒本人と担当とで相談して決定する。

カ 「まちかどの学校」での過ごし方の例

○ 通級開始当初の中学生Aさん

時 間	月	火	水	木	金
10:00～ 10:50					
11:00～ 11:50				担当との 個別活動	



- ・木曜日の11時から50分間、週1回の通級から始めました。
- ・個別活動の時間は、担当の先生と事前に相談して活動内容を決め、学習や物作り、面談などを行っています。
- ・通級に慣れてきたら、担当の先生と相談して、10時から50分間はゼミ活動に参加し、個別活動と合わせて2時間の通級にしようかと考えています。

○ 通級開始当初の小学生Bさん

時 間	月	火	水	木	金
13:00～ 13:50			ゼミ活動 (算数)		
14:00～ 14:50					担当との 個別活動

- ・水曜日は13時から、金曜日は14時から、それぞれ50分間、週2回の通級です。
- ・ゼミ活動は、最初に、担当の先生からボランティアさんを紹介してもらい、その後、活動の様子を見学してから参加するかどうかを決めました。
- ・個別活動の時間は、担当の先生と面談し、1週間の生活の振り返りをしています。



○ 通級に慣れ、小集団の形で、多くの活動をすることを目標にしている、中学生Cさん

時 間	月	火	水	木	金
10:00～ 10:50	学習 ※つげの木				
11:00～ 11:50	学習(理科) ※つげの木		ゼミ活動 (バドミントン)		担当との 個別活動
12:00～ 13:00			お弁当		



- ・毎週月曜日は、「つげの木」の部屋で過ごしています。10時から自分で決めた教科の学習、11時から、授業形式の学習に慣れることを目標に、理科を教してもらっています。
- ・水曜日のゼミ活動では、他の通級生3名と一緒に、ボランティアさんからバドミントンを習っています。また、この日は、お弁当を持参し、13時まで過ごしています。
- ・金曜日の個別活動の時間は、担当の先生と面談を行っています。1週間の振り返りをして、自分の課題を整理したり、来週の目標を立てたりしています。

キ 活動内容

○ 担当者・ボランティアとの個別活動

- ・通級開始直後
- ・不安や緊張が非常に強い

- ・学習…各教科，パソコン
- ・運動…卓球，バドミントンなど
- ・物作り…工作，手芸，編み物など
- ・ゲーム…カードゲーム，ボードゲームなど

○ 目的別小集団活動（ゼミ活動）や学習室4での集団活動（つげの木）

- ・不安や緊張が和らいだ
- ・集団活動への興味・関心が高まった
- ・心が安定し，エネルギーが高まった

- ・各教科の学習教室
- ・卓球教室，バドミントン教室など
- ・陶芸教室，料理教室，犬とのふれあい教室など
- ・「つげの木」での室内ゲームや運動，調理など

○ 自習室でのひとり学習

- ・静かに過ごしたい

- ・パーティションで仕切られた部屋で，人目を気にせずに過ごす

○ 仲間との交流・談話

- ・仲間とおしゃべりがしたい

- ・活動の間の休み時間におしゃべり
- ・お弁当を一緒に食べる
- ・昼休みに一緒にゲームをする

ク 年間行事予定（例）

	行 事 名 等	概 容 な ど
春	全国学力・学習状況調査，とちぎっ子学習状況調査	希望者のみ実施
	合同行事「冒険活動体験①」※	野外活動：冒険活動センター
	合同行事「遠足」※	施設見学，体験活動など
夏	合同行事「冒険活動体験②」※	野外活動：冒険活動センター
	まちかどキッチン①	カレーライス作り
	保護者面談	通級についての振り返り，目標設定など
秋	まちかどキッチン②	そうめん，天ぷら作り，流しそうめん
	合同行事「校外学習」※	施設見学，体験活動など
	合同行事「合同スケート教室」※	スケート体験：市スケートセンター
	県西地区ふれあいキャンプ	2泊3日 部分的な参加も可
	学習発表会	作品展示，発表
	全市一斉土曜授業（小・中）	希望者のみ実施
冬	適応指導教室交流学习会※	県内の適応指導教室との交流
	学習内容定着度調査，学習と生活についてのアンケート	希望者のみ実施
	お茶会	茶道体験
	合同行事「校外学習」※	施設見学，体験活動など
	保護者面談	通級についての振り返り，来年度に向けての相談など
	旅立ちの会（小・中）	通級を終える節目の式

※：とらいあんぐるとの合同行事

※：とらいあんぐる，相談学級との合同行事

ま ち か の 学 校

《調理室》

調理台が4台あり、個別活動や目的別小集団活動、行事などで調理をする際に使います。



《多目的室》

壁が防音になっているので、楽器演奏などの音の出る活動や、集中して静かに取り組みたいときなどに使います。



《相談室》

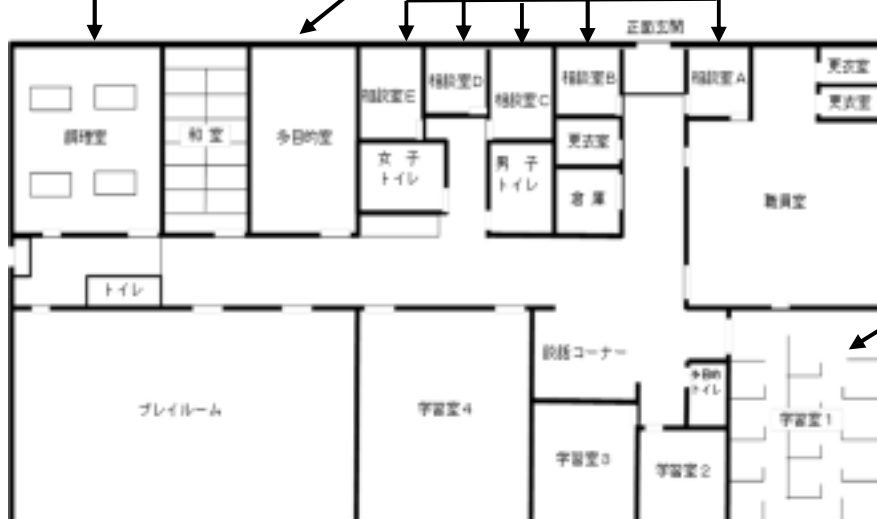
相談室は担当との面談などで使います。スクールカウンセラーに相談することもできます。



《学習室》

学習室1では、パーティションで仕切られた机で、活動することができます。

学習室2・3は、個別活動や目的別小集団活動で使用します。



《プレイルーム》

卓球やバドミントンを行うことができます。個別活動や目的別小集団活動での運動、手芸やカードゲームなどの活動も行います。



《学習室4（つげの木）》

集団で、学習をしたり、一緒に昼食を食べたりしています。同じメンバーで運動や調理などの活動もしています。



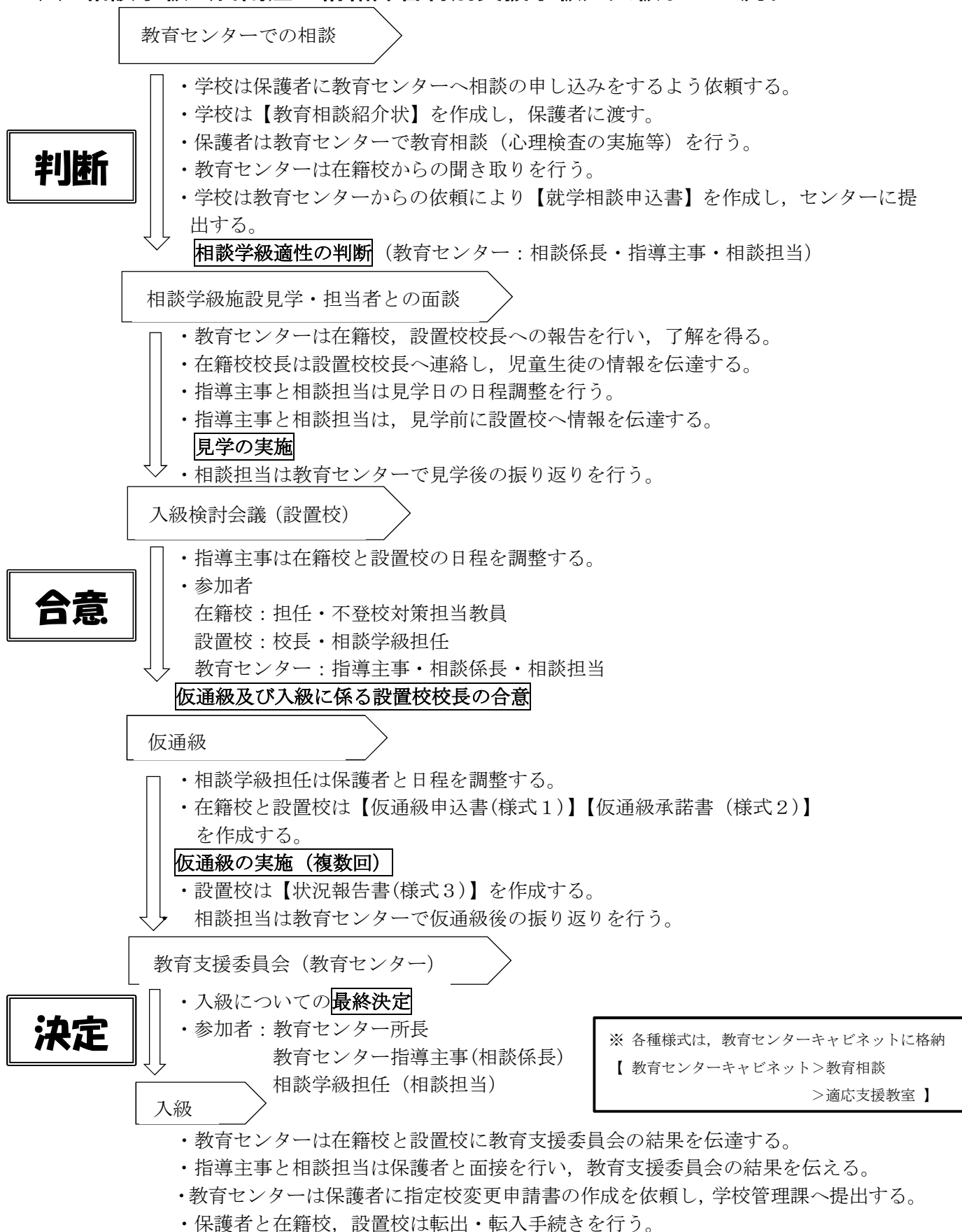
《屋 外》

キャッチボールなどの運動ができます。畑やプランターでは、様々な野菜や草花を育てています。



4 相談学級の概要

(1) 相談学級（自閉症・情緒障害特別支援学級）入級までの流れ



(2) 宇都宮市立築瀬小学校 相談学級（自閉症・情緒障害特別支援学級）

ア 所在地 〒321-0963 宇都宮市南大通り2-6-6
電話 633-0160（直通）、FAX 651-2348



イ 担当者 教諭： 1名
スクールカウンセラー： 年10回程度

ウ 対象

- ・ 時間をかけて、じっくりと着実に自信をつけたい児童
- ・ 原籍校や設置校の通常の学級への復帰を目指したい児童
 - ※ 小集団での活動に参加できる見込みがあることが前提であり、原則として欠席状態が続いている児童
 - ※ 宇都宮市教育センターで入級が適当と判断された児童が対象

エ 学級の特徴

学校内設置のメリットを生かす

- ・ 校内の様々な施設・設備や教材等の使用が可能であり、学校の日課に準じ、給食や清掃活動などに参加することにより、学校生活のリズムを取り戻すことができる。
- ・ 本校通常の学級の授業や学校行事に参加することを通して、学級外の児童との交流や、学習体験ができる。また、通常の学級の担当者と連携を図り、復帰に向けて取り組むことができる。

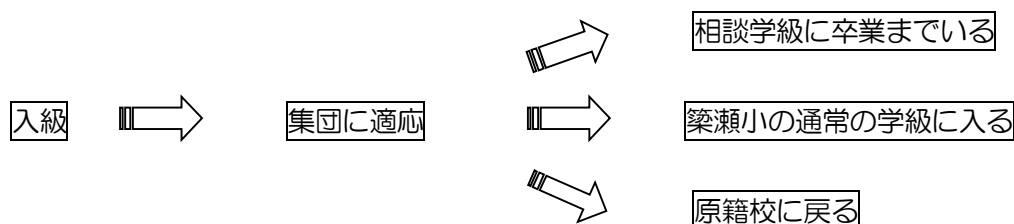
小集団活動への参加に向けて

- ・ 小集団活動に適応できるよう、初めは生徒と担当者との個別対応を行い、信頼関係を築いた上で、段階的に小集団に移行する。そのため、一人一人のペースに合わせて活動に参加しやすい。

個別対応で信頼関係を深める ⇨ 徐々に小集団活動に移行 ⇨ 小集団活動 ⇨ 学級・学年との交流

適応状況に応じた復帰

- ・ 相談学級内で卒業までじっくりと時間をかけて取り組んだり、設置校の通常の学級や原籍校へ復帰したりできる。



オ 日 課

※ 築瀬小の日課になります。

カ 過ごし方の例

◎ 登校する日（曜日）・時間などは、児童・保護者との面接により決定し、児童の実態に応じて個人の計画を立てていきます。

○ 入級まもないAさんの場合

時 間	月	火	水	木	金
14:45～ 15:30					
15:30～ (放課後)				担当との 個別活動(ゲーム)	



「ぼくは、今は放課後に1対1で活動しています。そろそろ6時間目の時間に活動しようと考えています。」

※ 教室・担任に慣れることを目標として支援をしていきます。活動内容も、児童・保護者と相談しながら、学習以外にも、カードゲーム・アイロンビーズ制作・プレイルームでの活動など、児童が楽しい！と感じられる活動をしていきます。

○ 安定して登校できるようになったBさんの場合

時 間	月	火	水	木	金
13:50～ 14:35			担当との 個別活動(学習)		交流授業への 参加(国語)
14:45～ 15:30		担当との 個別活動(学習)			

「わたしは、週に3日間、午後に登校し、活動しています。楽しくなってきました。」
※ 安定して登校できるようになってきたら、児童・保護者と相談しながら、少しずつ過ごす時間や活動内容の枠を広げていきます。各教科の学習に取り組んだり、交流学級の授業に参加したりすることにも挑戦していきます。



○ 毎日登校できるようになったCさんの場合

時 間	月	火	水	木	金
10:35～ 11:20	担当との 個別活動(算数)	交流授業への参 加(図工)	担当との 個別活動(算数)	担当との 個別活動(算数)	担当との 個別活動(算数)
11:30～ 12:15	交流授業への参 加(国語)	交流授業への参 加(図工)	担当との 個別活動(社会)	担当との 個別活動(理科)	交流授業への参 加(国語)
12:15～ 13:05			給食		



「わたしは、毎日午前中に登校できるようになりました。次は行事への参加を目標にしています。」

※ 児童・保護者と相談しながら、さらに過ごす時間や活動内容の枠を広げていきます。交流学級の授業への参加教科を増やしたり、一日活動したり、学校・学年行事に参加したりすることにも挑戦していきます。

キ 活動内容

○ 面接相談

- ・心の安定を図り、生活を振り返って家庭や学校でのめあてを決める

- ・自分に合った目標設定
- ・自分の時間割や日課の作成

○ 学 習

- ・欠席により抜けた部分の学習をする
- ・学ぶことの楽しさを感じる

- ・学年や進度に合わせた全教科の学習
- ・通常の学級への部分的な参加
- ・学校の教具を生かした学習教材の活用

○ スポーツ

- ・遊びや運動に親しみ、心身を開放する
- ・体を動かして体力をつける

- ・室内運動（プレイルーム・体育館）
- ・学年の体育の授業への参加や小集団でのゲーム
- ・校庭や屋上、プールの活用

○ 様々な体験活動

- ・体験活動を工夫して学習の幅を広げ、集団への適応力をつける

- ・学校施設や地域の教材を活用した広範囲な体験的学習
- ・実験、調理実習、農園作業など興味関心を喚起する活動

ク 行事予定（例）

	行 事 等	概 要
春	全国学力・学習内容調査、とちぎっ子学習状況調査	希望者は実施が可能
	運動会	交流学級での参加が可能
	新体力テスト	希望者は実施が可能
	農園活動	さつまいも・野菜の苗植え
夏	ヤナフェス	縦割り班ウォークラリー
秋	遠足（1～4年）	交流学級での参加が可能
	合同行事 「合同スケート教室」 ＊	スケート体験：市スケートセンター
	修学旅行（6年）	交流学級での参加が可能
冬	適応指導教室交流学习会 ＊	県内の適応指導教室との交流
	学習内容定着度調査、学習と生活に関するアンケート	希望者は実施が可能
	冒険活動教室（5年）	交流学級での参加が可能

＊は各適応支援教室と旭中相談学級との合同行事です。

※ 旭中相談学級との交流活動（6年生）を実施しています。

※ 本人のペースに合わせ、学年の行事や活動に参加することが可能です。

築瀬小相談学級



《相談学級・教室》

個人の活動コーナーでじっくりと活動することもできます。



IHヒーターのキッチンでいろいろな物を調理しています。



《プレイルーム》

ボールプールにかくれちゃえ！



とても広くて気持ちいい！



(3) 宇都宮市立旭中学校 相談学級（自閉症・情緒障害特別支援学級）

ア 所在地 〒320-0816 宇都宮市天神1-1-42
電話 635-6580（直通），FAX 651-0509



イ 担当者 教諭：4名
スクールカウンセラー：年10回程度

ウ 対象

- ・ 小集団の中で、時間をかけてじっくりと着実に自信をつけたい生徒
 - ・ 原籍校や設置校の通常の学級への復帰を目指したい生徒
- ※ 小集団での活動に参加できる見込みがあることが前提であり、原則として欠席状態が続いている生徒
- ※ 宇都宮市教育センターで入級が適当と判断された生徒が対象

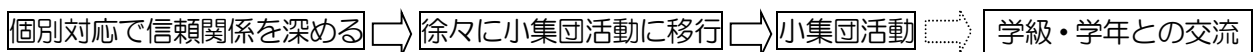
エ 学級の特徴

学校内設置のメリットを生かす

- ・ 本校通常の学級の授業や学校行事に参加することを通して、学級外の生徒との交流や、学習体験ができる。また、通常の学級の担当者と連携を図り、復帰に向けて取り組むことができる。
- ・ 3年生については、希望する進路や生徒の状況に応じて学習の時間を調整し、本校と連携を図り進路指導を行うことができる。

小集団活動への参加に向けて

- ・ 小集団活動に適應できるよう、初めは生徒と担当者との個別対応を行い、信頼関係を築いた上で段階的に小集団に移行する。そのため、一人一人のペースに合わせて活動に参加しやすい。

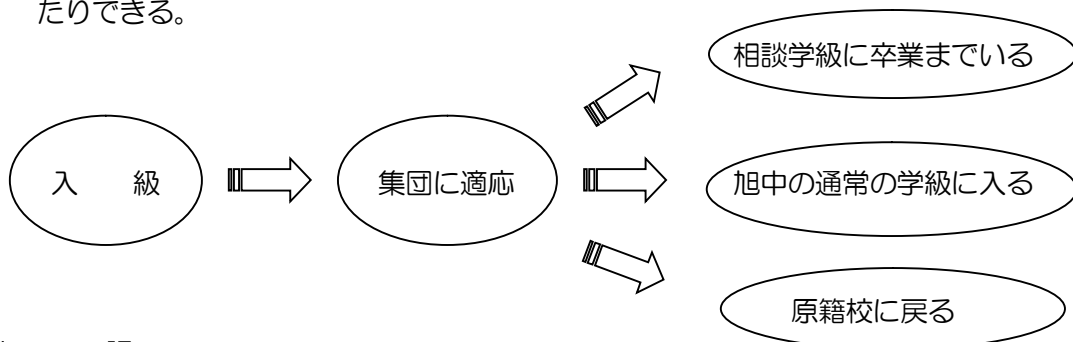


豊富な校外活動

- ・ 大自然の中でのキャンプや、約20～30kmを歩きぬく強歩、学級独自で行う修学旅行など、豊富な校外活動を通して自分を見つめたり自信を回復したりしながら、仲間と共に様々な体験を行うことができる。

適応状況に応じた復帰

- 相談学級で卒業までじっくりと時間をかけて取り組んだり、設置校の通常の学級や原籍校へ復帰したりできる。



オ 日 課

	時 間	月	火	水	木	金
小 集 団 活 動 の 日 課	① 8:45～ 9:30	自 主 活 動				
	9:30～ 9:40	朝 の 会				
	② 9:45～10:35	5教科(学年別)	体 育	5教科(学年別)	体 育	5教科(学年別)
	③ 10:50～11:40	体 育	5教科(学年別)	体 育	5教科(学年別)	体 育
	④ 11:50～12:40	学活・道徳	音楽／美術	総合的な学習	総合的な学習	技術・家庭
	12:40～13:15	給 食				
	13:15～	フリー・面接				
		清 掃				
		帰 り の 会				
	下校時刻	14:45				
個人対応		15:30～16:30				

* 生徒の適応状況により、時間割を調整する。

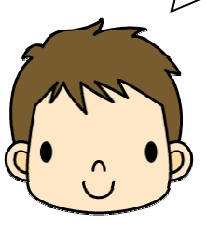
カ 過ごし方の例



【入級まもないAさん】



【安定して登校できるようになったBさん】



【毎日登校できるようになったCさん】

私は、今、個別対応中なので、週3回、15時から1時間、バドミントンや調理、面接をやっています。

私は、個別対応にも慣れてきたので、今は、体育と給食だけ、みんなの中に入り始めました。担当の先生と一緒になので安心できます。

僕は、9時半に登校して、下校時刻まで1日過ごしています。学習や給食など、本校の交流学級で過ごすこともあり、楽しく活動しています。

キ 活動内容

○ 面接相談

- ・考えや気持ちを整理し、自己理解を図る
- ・自ら判断して行動に移す機会にする



- ・人間関係や生活、進路など様々な悩みについての相談

○ 学 習

- ・学習の習慣化を図る
- ・学習意欲を喚起する



- ・5教科、実技教科、総合的な学習
- ・学級の小集団での授業や個別学習
- ・本校の授業への参加

○ スポーツ（体育）

- ・体を動かす楽しさや達成感を味わう
- ・体力をつけたり仲間意識を育てたりする



- ・体育などでのバドミントンやバスケットボール・ユニホックなどの運動

○ 学校行事

- ・通常の学級復帰へのステップにする
- ・大きな集団に挑戦し適応力の向上を図る



- ・本校での体育祭や儀式的行事など、学校行事への参加

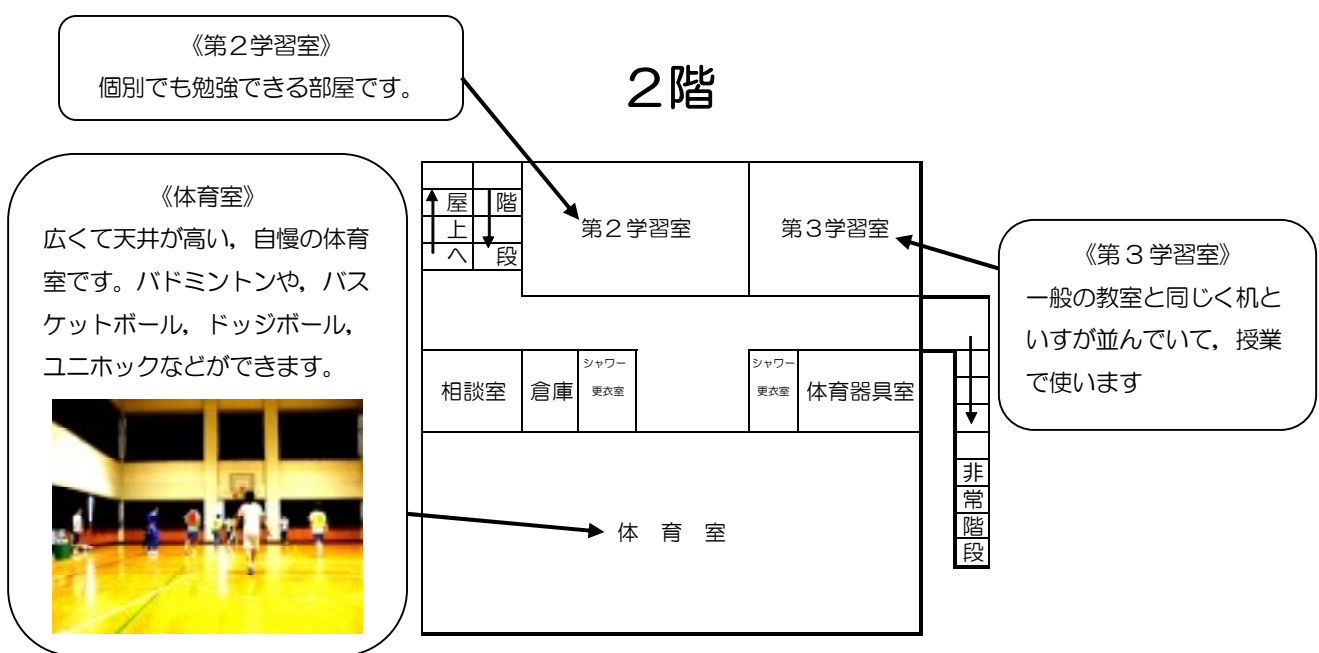
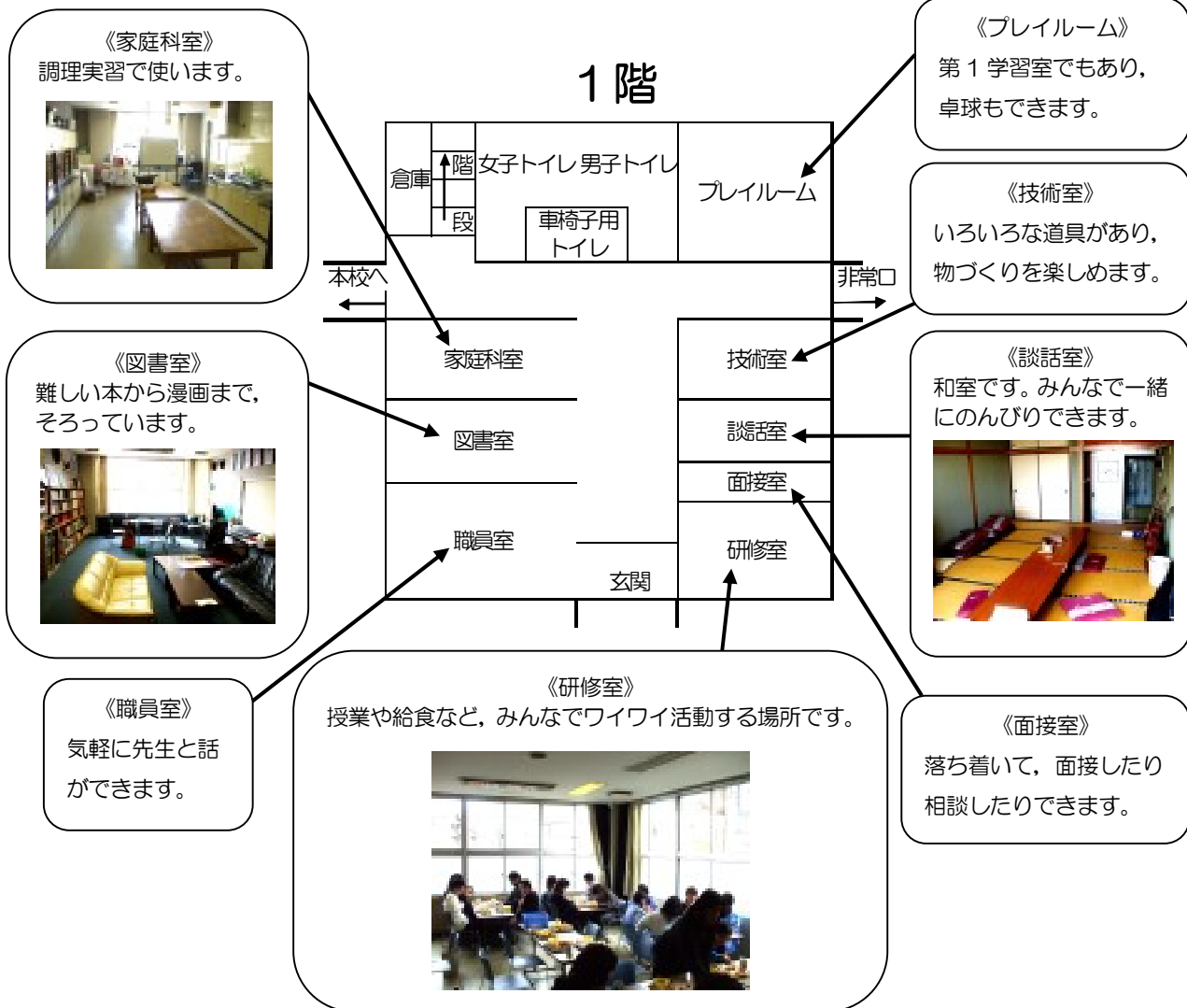
ク 年間活動計画（例）

時期	行 事 名	概 要
4 月 ～ 7 月	入学式	全校生と共に行う入学式と、学級独自の入学式
	春の遠足	みんなで八幡山へハイキング
	宿泊学習（1泊2日）	キャンプの事前学習として、学級に泊まって共同生活をしながら野外炊飯にも出かける
	修学旅行（1泊2日）	みんなで計画を立て、学級独自の旅行
9 月 ～ 10 月	キャンプ（2泊3日）	大自然の中でテントに泊まり、様々な体験
	キャリア講座	働く人の話を聞いたり、自己理解を深めたりする活動を行う
	秋の遠足	学級のみんなで楽しく遠足へ
	合同スケート教室 *	スケートの体験：市スケートセンター
11 月 ～ 12 月	体力づくり1・2	強歩に向けて、距離数を伸ばしながらみんなで行く
	適応指導教室交流学習会 *	県内の適応指導教室との交流
	強歩	自分との勝負、約20～30kmの道のりを一日かけて歩きぬく
2	立志式	2年生は、これまでの生活を振り返り、今後の目標を発表
3	卒業式	全校生徒と共に行う卒業式と、学級独自の卒業式

*は各適応支援教室と築瀬小相談学級との合同の行事です。

※ 築瀬小相談学級との交流活動を実施しています。

旭 中 相 談 学 級



5 適応支援教室・相談学級Q & A

Q 適応支援教室と相談学級の違いって何ですか？

A 適応支援教室は自分の学校に在籍したまま、相談学級は転校をして旭中や築瀬小の在籍になることが大きな違いです。
また、それぞれに対象とする児童生徒や活動内容が異なります。詳しくは、前項の各教室・学級紹介をご覧ください。

Q 通うときは制服を着なければいけませんか？

A 私服で通うこともできます。
制服で通うことを苦痛とを感じる子のために、私服で登校・通級することもできます。ただし、私服の場合は華美にならず、休日の遊び着とは区別した登校にふさわしいものを着用するよう指導しています。制服は正しく着用することが約束です。

Q 携帯電話・スマートフォンを持っていきたいのですが？

A 事情がある場合に限っては、認める場合があります。
基本的には、持ってこないことが原則です。必要があって持参する場合は、許可が必要です。その際、活動中は一時的に預かって下校時に返すようにしています。

Q 給食はありますか？

A 適応支援教室には、給食はありません。活動がお昼にかかる場合は、お弁当を持参してください。
相談学級は、学校内に教室があるので給食があります。

Q 放課後の活動はありますか？

A 放課後の活動はありません。活動終了後は、すみやかに帰宅するよう指導しています。
旭中相談学級では、希望すれば部活動に参加することが可能です。

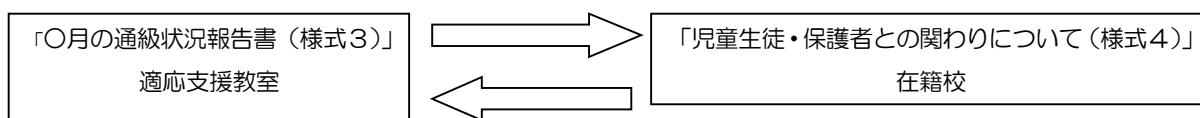
Q 適応支援教室・相談学級に通級・登校を予定していた日に休む場合は、誰に連絡すればよいのですか？

A 必ず保護者が、適応支援教室・相談学級あてに連絡をするようお願いしています。

Q 適応支援教室に行った日をどのようにして学校に知らせるのですか？

A 各適応支援教室から、在籍校にいつ通級したのか、どんな活動をしているのかを毎月お知らせしています。

また、学校からも出席の状況を毎月文書で適応支援教室に知らせてもらっています。



Q 適応支援教室や教育センターに行った日は、学校は出席扱いになりますか？

A 校長先生の判断で指導要録上出席扱いとすることができます。また、通知表にも出席として記入することができます。ただし、学校には行っていないので、出席簿は欠席（事故欠）として記録されます。

Q 適応支援教室や相談学級に通っている生徒は、どのような進路を選んでいますか？

A 全日制高校や定時制（フレックスを含む）高校、通信制高校、専門学校など、自分の希望や状況に合わせ、毎年ほとんどのお子さんが進路を決定しています。

先生方へ

通級に関する出席等の取扱いについて

- ・ 適応支援教室への通級は、在籍校の校長の判断により、指導要録上の出席扱いとすることが可能です。通知表についても同様となります。なお、指導要録の備考欄に「通級（まちかどの学校 10）」と記入します。
- ・ 出席簿については、在籍校の教育活動への出席の有無の記録であることから、適応支援教室に通級した場合であっても、その日に在籍校に登校しなければ欠席（事故欠）となります。
- ・ 本市（教育センター）が上半期と年度末に実施する「長期欠席に関する実態調査」や国・県が実施する各種調査においては、出席簿と同様に欠席（事故欠）となります。
- ・ 相談学級の仮通級中も、同様の扱いとなります。

※ 学習情報システムの入力については「出席簿等＜通級（適応支援教室）＞に関するご案内」を参照して下さい。

【教育センターキャビネット＞教育相談＞指導要録上の出席扱い＞に格納】